

# mitsubishi

## バスルームテレビ

形名

# RMC-TV1

※リモコンは別売です。(形名:RMC-TV1R)

### 工事説明書

販売店・工事店さま、お客さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい工事が必要です。

工事の前にこの「工事説明書」を必ずお読みください。

この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、また、指定の部品を使用せず工事された場合、事故や故障が生じたときには責任を負いかねます。

### 工事をされる方へ

- 工事後は、取扱説明書とともに、お使いになるお客さまにお渡しし、保管していただくよう依頼してください。
- リモコンは必ず当社別売部品(形名:RMC-TV1R)を使用してください。
- 電気設備技術基準、各都市の条例等に従って施工を行なってください。

### もくじ(工事の流れ)

	ページ		ページ
■ 安全のために必ずお守りください	2~3	■ リモコンホルダーの取り付け	11
■ 付属部品の確認	4	■ 試運転	12~14
■ システム図	5	■ 外部入力接続	15~18
■ 電源・チューナーユニットの取り付け	6~7	■ 外形寸法図	19~20
■ テレビ本体の取り付け	8~10		





\*SHA8511 C\*

この工事説明書は再生紙を使用しました。




## ■安全のために必ずお守りください

バスルームテレビ(以下、本機)を安全に設置・使用していただくために、下記のことは必ずお守りください。これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。







- 表示と意味は次のようになっています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った作業をすると、設置工事業者およびお客さまが死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った作業をすると、設置工事業者およびお客さまが傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を表しています。




- 本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		アース線接続		指示に従い行う
---	----	---	--------	---	---------


### 警告

	施工はこの工事説明書に従って確実にこなしてください。 施工に不備があると、感電、火災の原因になります。 ※この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は製品の保証をしかねますのでご注意ください。
	電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および施工説明書に従って有資格者が施工してください。 電源回路容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。
	アンテナ線には、アース工事を行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線には接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属張りの木造の造営物に金属製のダクトや配管などが貫通する場合、金属製のダクトや配管などとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けてください。 漏電した場合、火災の原因になります。
	本機取付時、製品の改造は絶対に行わないでください。
	電源チューナーユニットには単相交流 100Vを使用し、高感度・高速形の漏電遮断器を接続してください。 火災や感電の原因になります。

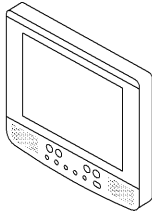
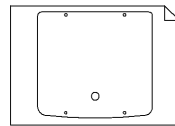
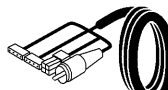
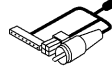
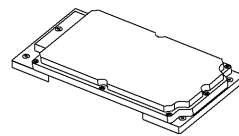




### 注意

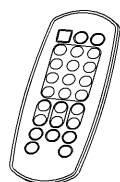
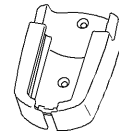



	電気設備の技術基準、内線規程、各都市の条例等に従って、安全・確実に施工してください。 漏電、感電や火災のおそれがあります。
	部品の取り付けは確実にこなしてください。 落下により、ケガをするおそれがあります。
	取り付けの際は手袋を着用してください。 着用しないと、ケガをするおそれがあります。

## ⚠ 注意

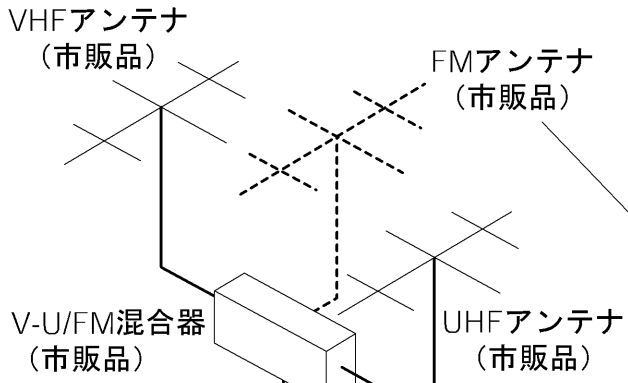
-  取り付けが完了するまで、AC100V電源は投入しないでください。
-  バスルームテレビのアンテナ線（同軸ケーブル）が電気工事で配線されていることを確認してください。
-  電源・チューナーユニットは、浴室内や直接雨のあたる場所に設置しないでください。
-  テレビ本体は60°C以下になる場所に取り付けてください。また、40°C～60°Cでは画像がみだれる場合がありますが、5°C～40°Cの範囲内になると正常に戻ります。
-  浴室乾燥機のある浴室では、温風が直接あたらない場所にテレビ本体を取り付けてください。
-  テレビ本体・リモコンは防水タイプですが、浴室内のなるべくお湯または水のかからない場所に取り付けてください。
-  特殊薬品（ベンジン、油脂系の洗剤等）を使用する場所への取り付けは避けてください。
-  テレビ本体は屋外や直射日光のあたる場所への取り付けは避けてください。
-  正面からテレビを見ることのできる位置に取り付けてください。
-  テレビ本体は段差の無い壁面に取り付けてください。  
段差がある壁面に取り付けると、テレビ本体が変形して、不具合が発生するおそれがあります。
-  壁に固定用の穴を開けるとき、大きく開けすぎると固定できなくなるので注意してください。
-  壁に貫通穴を開けるときは、壁内部にある柱・鉄筋の位置を確認して取り付け位置を決めてください。
-  音声スピーカーが内蔵されていますので、金属くずが付着すると音割れ等の原因になります。  
テレビ本体に金属くずが付着しないように、壁に取り付ける直前に袋から出してください。
-  ネジ止めは必ず手締めで行い、テレビ本体・リモコンホルダーががたつかない程度に締め付けてください。
-  取り付け工事に必要のないネジは絶対に締め付けたり、ゆるめたりしないでください。  
※電気ドライバー、インパクトドライバー等、絶対に使用しないでください。締め付け過ぎるとテレビ本体が変形し、不具合が発生するおそれがあります。
-  誤って落下した製品は、使用しないでください。水が侵入し、発煙・発火・感電のおそれがあります。
-  CATVの接続については、電器店にご相談ください。

■ 付属部品の確認 (梱包内には取扱説明書<保証書付>、工事説明書、地域番号一覧の他に下記の付属部品が入っております。取り付けの前にご確認ください。)

共通部品					
名称	形状	個数	名称	形状	個数
テレビ本体		1	型紙 (テレビ本体用)		1
中継コード(4m)	(モニター側)  (電源側) 	1	電源・ チューナーユニット		1
+丸木ネジ(長)		4	+丸木ネジ(短)		4
オールプラグ		8	丸端子		2

RMC-TV1R (別売リモコン)					
名称	形状	個数	名称	形状	個数
リモコン		1	リモコンホルダー		1
+皿タッピンネジ		2	オールプラグ		2
リチウム電池 (CR2032)		1			

■システム図



混合器について

BS/CS放送を混合器に接続している場合は、分配器と電源・チューナーユニットの間に、BS/CS分波器を取り付けてください。

※FM放送を聞く場合は設置してください。  
(共聴アンテナ・CATVでは、一部のFM放送が受信できる場合があります。各現場での状況を確認願います。)

※CATVへの接続については電器店にご相談ください。

⚠ 注意

・アンテナに雷が落ちると、バスルームテレビが故障します。また、感電の原因になります。落雷に備えてアンテナ設備にアースを取るか、保安器(避雷器)を必ず設置してください。

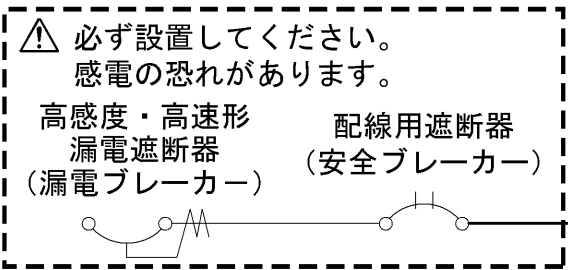
アンテナ線(現場手配品)

・同軸ケーブル5C-2V  
・電源・チューナーユニットに接続されるアンテナ線の電波の強さ(電界強度)は55dB $\mu$ 以上、85dB $\mu$ 以下が必要です。

中継コード(4m)

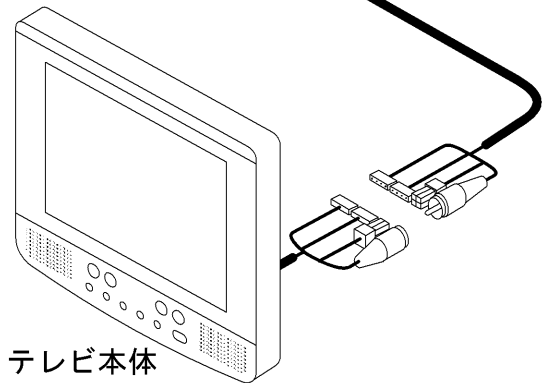
(屋外配線する場合は、 $\phi 32$ 以上のPF管に中継コードを通してください。)

※別途電気工事にて対応してください。



電源コードAC100V(現場手配品)

・VV-F( $\phi 1.6$ )を必ず使用し、電源・チューナーユニットとの接続は付属の丸端子でおこなってください。  
・屋外配線する場合は、PF管に電源コードを通してください。  
・電気工事は有資格者が行ってください。



注) 日本国内のみで使用できます。

外国では放送方式・電源電圧が異なりますので使用できません。

BS/CS・BS/CSデジタル放送・地上デジタル放送には対応していません。

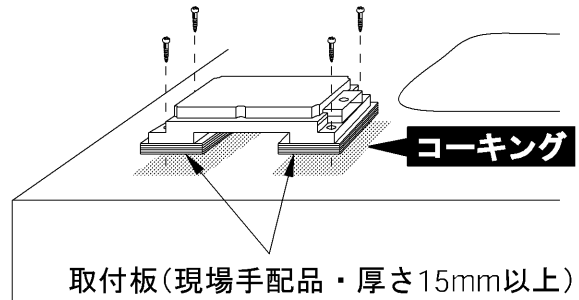
## ■電源・チューナーユニットの取り付け

(電気ドライバー・インパクトドライバーは使用しないでください。)

### 1. 電源・チューナーユニットを固定します。

#### (1) 浴室天井裏設置の場合

- ①電源・チューナーユニットを取付板(現場手配品)に+丸木ネジ(短)4本でネジ止めします。
- ②点検口から手の届く範囲で平らな面にコーキングを塗布し、設置します。



#### (2) 屋外設置の場合

壁にオールプラグ4本を打ち込み、+丸木ネジ4本(短)で壁面に固定してください。

(雨線内の、直接雨があたらない場所に設置してください。)

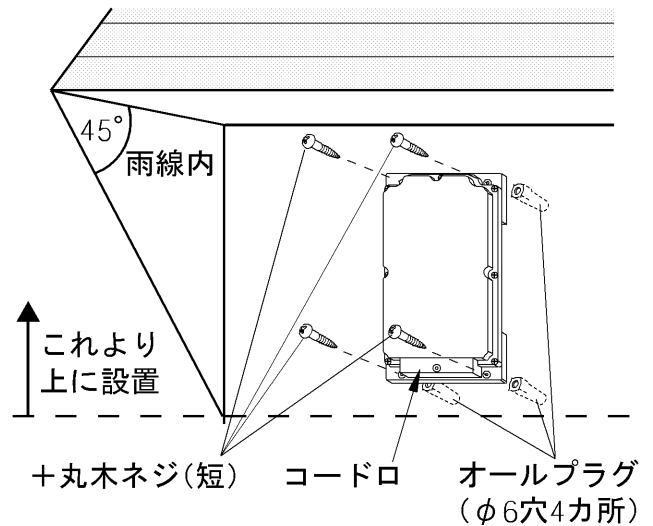
#### (3) 脱衣室設置の場合

壁にオールプラグ4本を打ち込み、+丸木ネジ4本(短)で壁面に固定してください。

※現場の壁厚などにより、フィッシャープラグ(アンカー)などを選定してください。

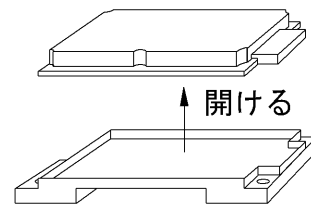
(直接水がかからない場所に設置してください。)

取付図方法は右図を参照してください。



※コードロを下に向けて取り付けてください。

### 2. 電源・チューナーユニットふたのネジ8本を外し、開ける。



### 3. 中継コード(電源側)・アンテナ線・AC100V電源を、①～⑤の順に無理な力がかからないように接続します。

取り付けがすべて完了するまで電気を供給しないでください。

#### ①中継コードのコンネクターを接続する。

コンネクターを確実に接続してください。接続が不十分な場合、音声途切れたり映像途切れる場合があります。

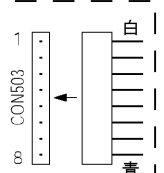
#### ②中継コードのピンコードを接続する。

ピンコードは下段のOUT(黄色)に接続してください。他の部分に接続しますと映像がでません。

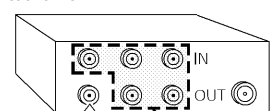
コンネクターを確実に挿入してください

#### 詳細図

CON503への挿入時は、向きに注意してください。(図のように挿入してください。)



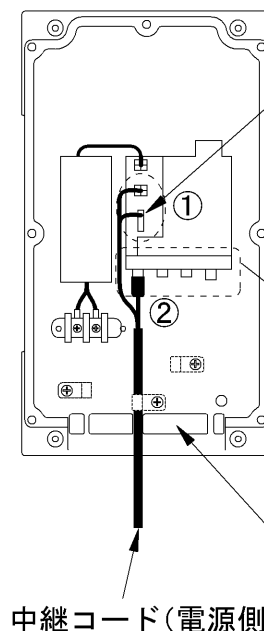
#### 詳細図



ここでは使用しません

中継コード(黄色下段に接続する)

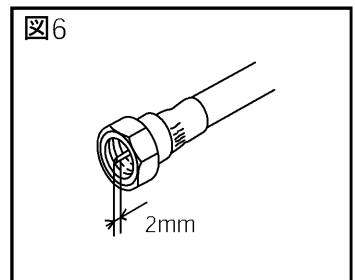
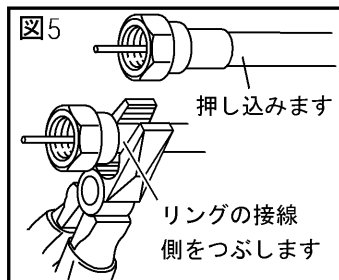
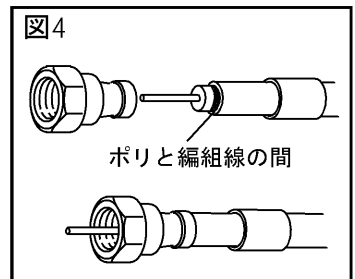
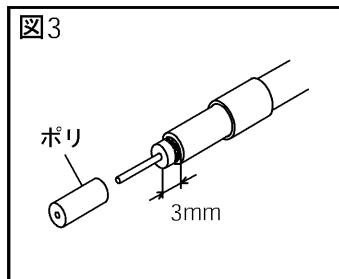
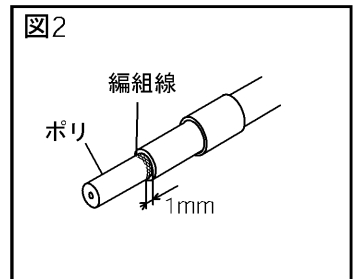
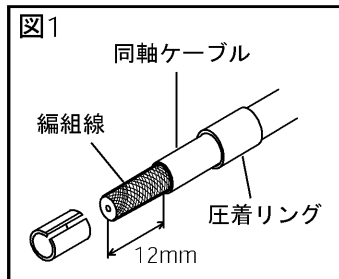
ゴムの溝にコードをおさめてください。



中継コード(電源側)

③アンテナ線はねじ式F型接栓で接続する。

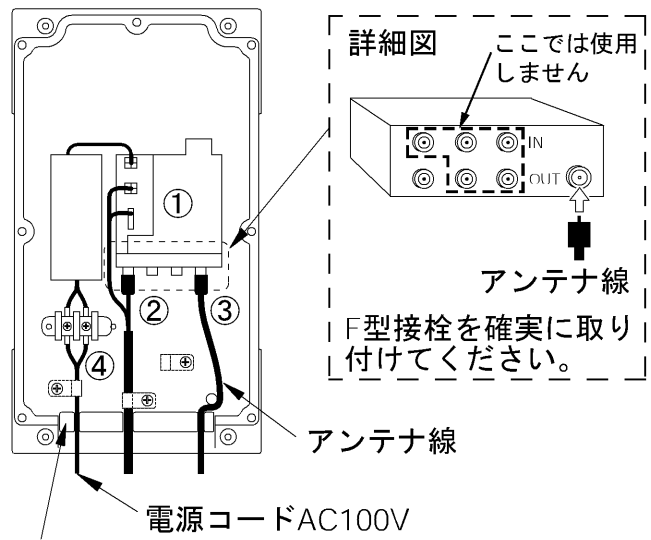
- (1) アンテナ線（同軸ケーブル）にF型接栓（現場手配）の圧着リングを通し、先端より12mmの被覆を取ります。（図1）
- (2) 編組線を1mm残して切り取ります。（図2）
- (3) ポリを約3mm残して切り込みを入れ回転させながら抜き取ります。（図3）
- (4) F型接栓をアンテナ線（同軸ケーブル）のポリと編組線の間、奥までしっかりと差し込みます。（図4）
- (5) 圧着リングをF型接栓と被覆の間にしっかり押し込み、接栓が抜けない様にペンチなどで締め付けます。（図5）
- (6) 余分な心線を斜めにカットします。（図6）
- (7) 電源・チューナーユニットにアンテナ線を接続します。（図6）



- ④電源コードAC100Vを付属の丸端子を使用し、確実に接続する。（電源コードは現場手配品）

- ⑤電源コード・中継コードを付属のコードクランプで確実に固定してください。

電源コード・中継コードに無理な力がかからない様に配線してください。無理な力がかかるとコネクタ・ピンコードなどが抜け故障の原因になります。



ゴムの溝にコードをおさめてください。

電気工事は有資格者が行ってください。

4. ふたをネジ8本で閉めます。

パッキンにゴミが付着していないことと、きちんとはまっていることを確認してから閉めてください。

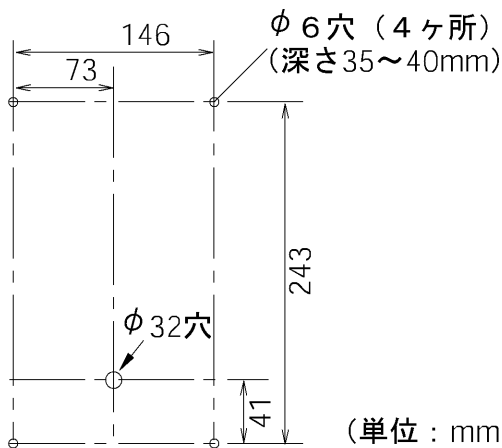
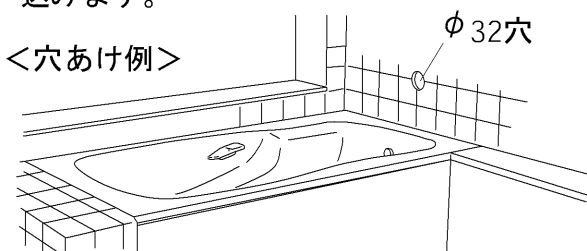
万一、ネジが空回りして締め付けられなくなった場合は、M3長さ30mmのトラス小ネジとM3用ナットではさみ込んで締め付けてください。

■テレビ本体の取り付け（・保護シートは取り付けが完了するまではがさないでください。  
・電気ドライバー・インパクトドライバーは使用しないでください。）

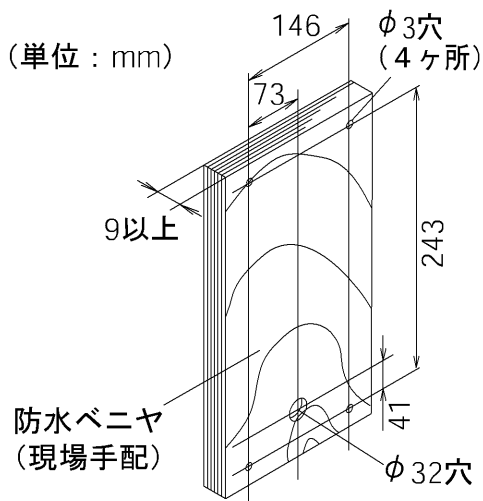
1. 取り付け位置を決めて型紙（付属品）を貼り付けてください。

- 目の高さにテレビ本体がくるように、貫通穴をあけてください。
- 浴槽長手側の壁に取り付けると、テレビが見えにくくなります。
- 浴槽落とし込み用水栓にあたらぬように取り付けてください。

2. 型紙に合わせて、壁に貫通穴（ $\phi 32\text{mm}$ ）と固定用の穴（ $\phi 6\text{mm}$ 、深さ35~40mm、4ヶ所）をあけ、オールプラグ4本を打ち込みます。



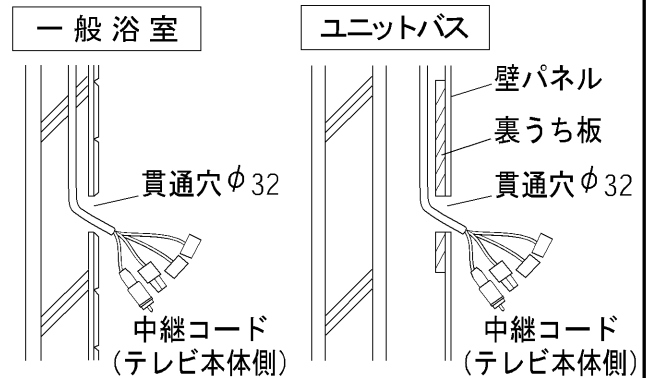
※ユニットバスなどの壁パネルにテレビ本体を取り付ける場合は、次のような裏打ち板をあらかじめ壁パネルの裏側に貼り付けておきます。（断熱材は除去してください。）



3. 中継コードを引き込みます。

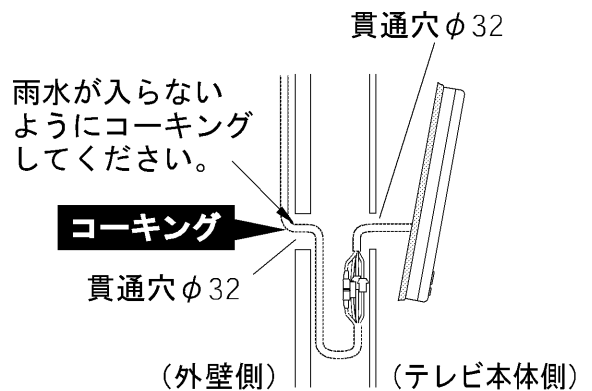
＜屋内配線の場合＞

- 中継コード（モニター側）を貫通穴から浴室内へ引き込みます。

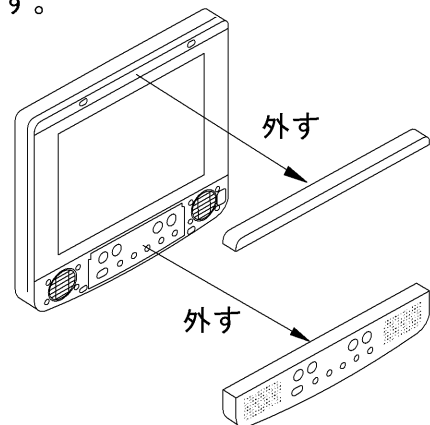


＜屋外配線の場合＞

- 中継コード（モニター側）を屋外から引き込みます。



4. テレビ本体の化粧枠上と化粧枠下を取り外します。



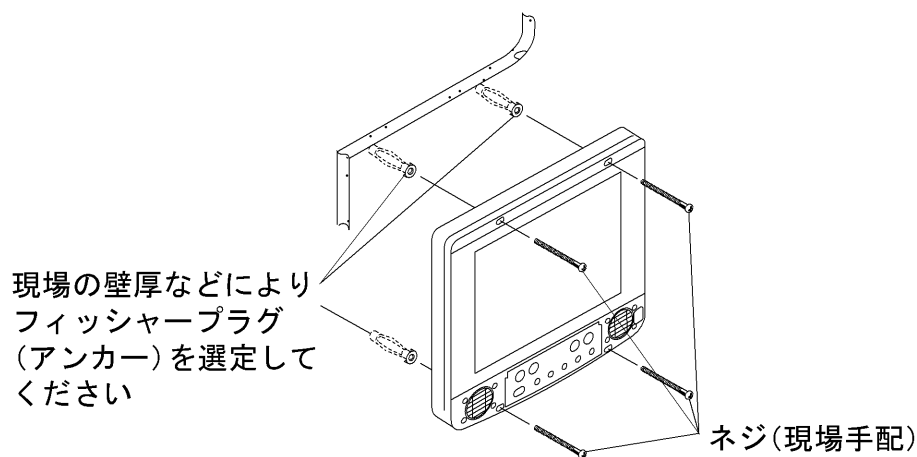
外れにくい場合は、切り欠き部に⊖ドライバーを入れて、ねじるようにして外してください。

その際、テレビ本体を傷つけないように、十分注意してください。



●取り付け注意

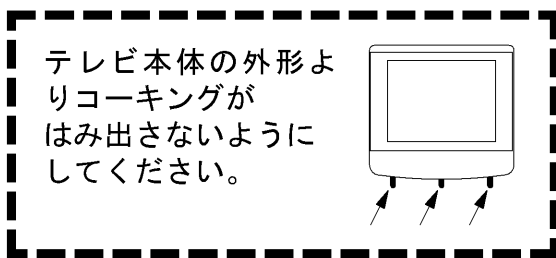
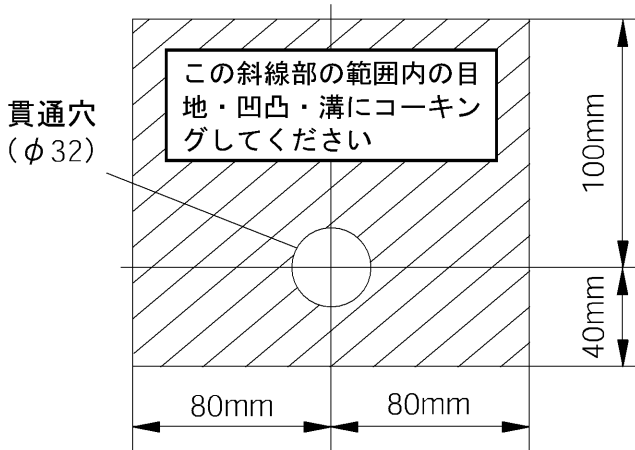
- ・裏打ち板を取り付けできない場合は、取り付け場所に応じてフィッシャープラグ（アンカー）などを使用し固定する。



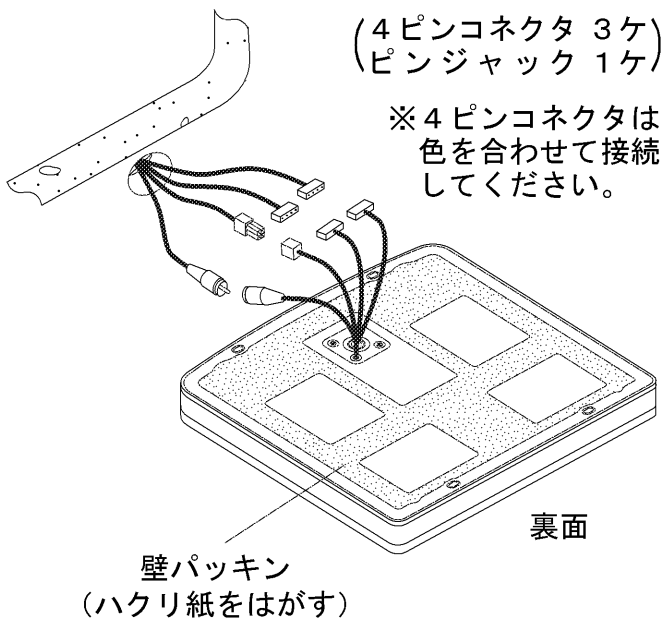
●電源・チューナユニットの取り付け場所の注意

- ・中継コード4m（付属品）が配線できる位置に取り付ける
- ・天井裏点検口に取り付ける場合は、なるべく点検口の付近に取り付ける。

5. タイル壁や、凹凸・溝のある壁の場合は、防水のため貫通穴のまわりの目地・凹凸・溝に、シリコン系コーキング剤等でシールします。



6. 中継コードを接続し、壁パッキンのハクリ紙をはがします。

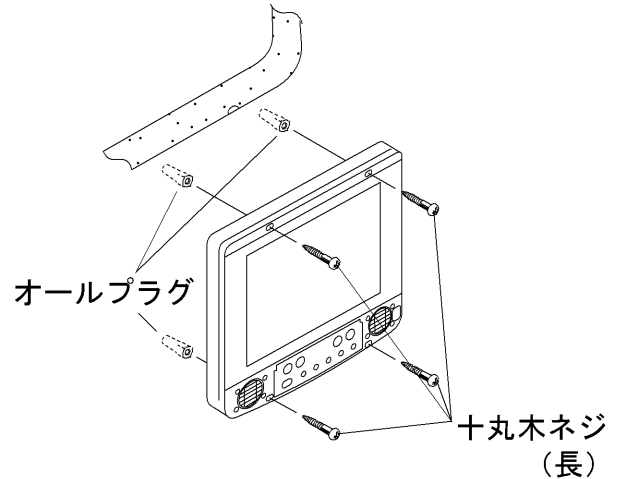


- ハクリ紙をはがさず取り付けると水が入って故障するおそれがあります。
- 中継コードおよびコネクタがはさまらないように取り付けてください。

7. 十丸木ネジ(長) 2本で上側2本を仮止めし、次に十丸木ネジ(長) 2本で下側2本を仮止めします。最後に十丸木ネジ(長) 4本を固定します。

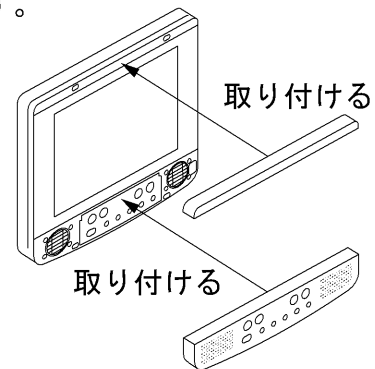
※壁パッキンだけの固定は絶対にしないでください。一度接着すると位置調整ができません。

※壁パッキンの接着は強力なので、事前にネジ穴位置を合わせてテレビ本体を取り付けてください。

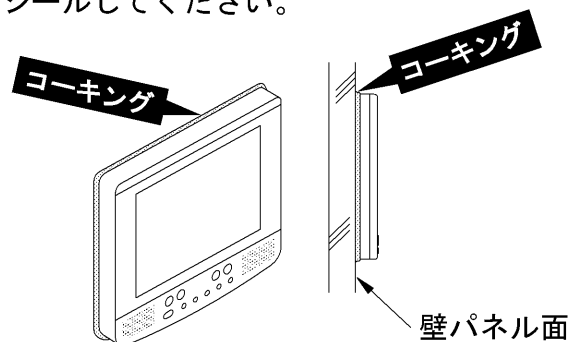


スピーカーに金属くずが付着しないように注意してください。

8. テレビ本体の化粧枠上・下を元どおり取り付けます。



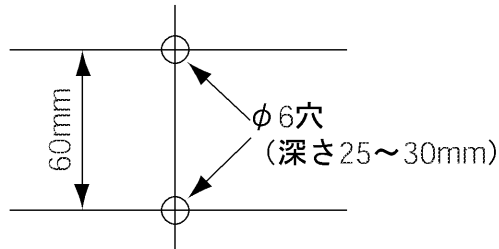
9. テレビ本体と浴室壁面のすき間は全周にわたり、シリコン系コーキング剤等で十分にシールしてください。



## ■ リモコンホルダーの取り付け

(電気ドライバー・インパクトドライバーは使用しないでください。)

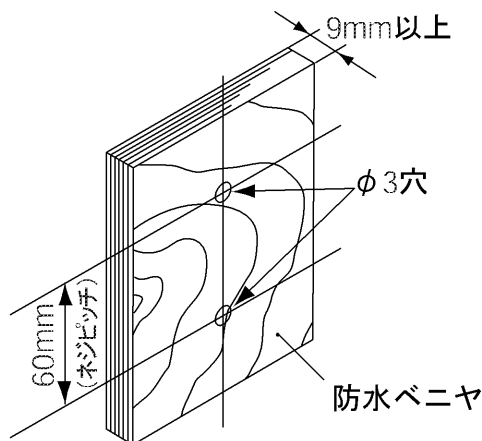
1. リモコンホルダーの取り付け位置を選定し、リモコンホルダー固定用の穴(φ6mm、深さ25~30mm)をあけ、オールプラグを打ち込み、シリコン系コーキング剤等で十分にシールします。



※ユニットバスなどの壁パネルにリモコンホルダーを取り付ける場合は、下図のような裏うち板が必要です。

[裏うち板はあらかじめ壁パネルの裏側に取り付けておく。]

※壁パネル厚に対応した+皿タッピンネジが必要です。(現場手配)

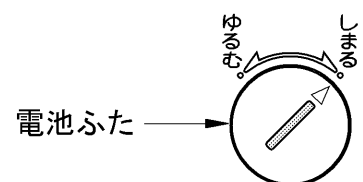


2. +皿タッピンネジ2本でリモコンホルダーを壁面に固定します。

リモコンの操作が可能であることを確認してください。

## ■ 電池の入れかた

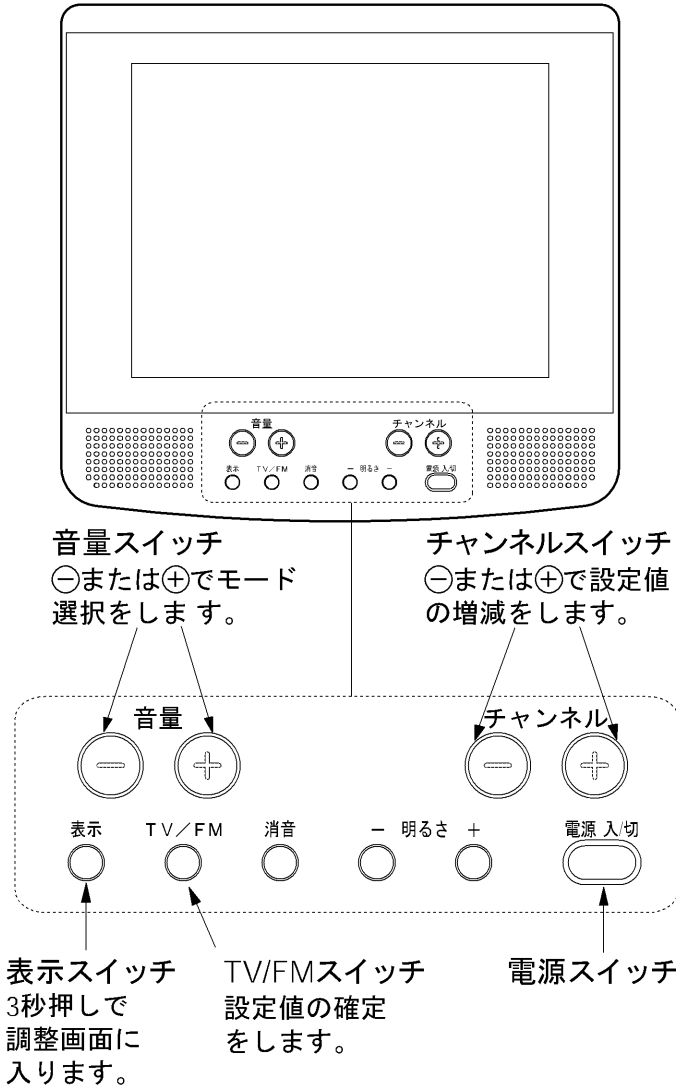
1. 硬貨などを使って、リモコン背面の電池ふたを開けます。
2. リチウム電池CR2032を、+が上になるように入れます。
3. 電池ふたを溝に合わせて取り付け、硬貨などを使って「しめる」の位置まで確実に閉めます。



- リモコンの電池のふたの開閉は、水がかからないところで乾いた手で行ってください。万一水が入ってしまった場合には、すぐ電池と内部の水を拭き取ってください。
- 電池の⊕⊖の向きを正しく入れてください。
- 電池のふたは必ず確実に閉めてください。

■試運転（漏電遮断器<漏電ブレーカー>を「入」にして、次のことを確認してください。）  
 ※必ず試運転はおこなってください。

<リモコンの場合>



【チャンネル設定】

地域番号入力による自動設定

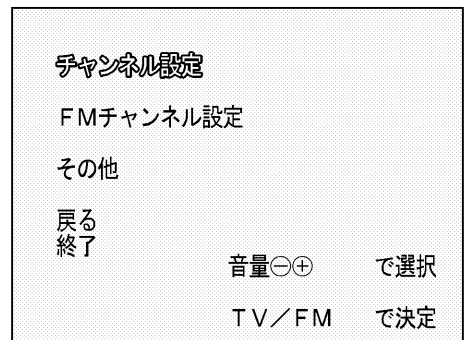
※テレビ本体の画面表示は、実際と異なる場合があります。

1. 電源スイッチを入れ、チャンネル1が表示されることを確認してください。
2. 表示スイッチを約3秒間押ししてください。  
 <リモコンの場合>  
 メニュースイッチを押してください。  
 ※調整画面を表示します。(図1)
3. 調整画面(図1)にて、音量スイッチ⊖または⊕を押して「設置調整」を選択し(選択すると文字が赤色に変わります)、TV/FMスイッチを押して確定してください。  
 ※設置調整画面を表示します。(図2)

(図1)



(図2)



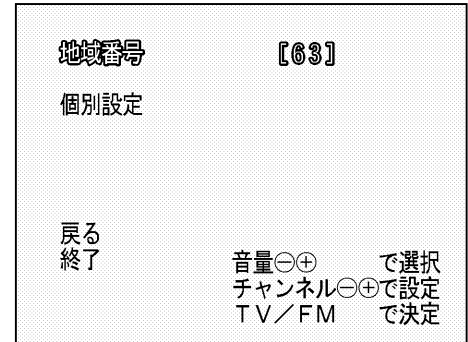
4. 設定調整画面（図2）にて、音量スイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「チャンネル設定」を選択し、TV/FMスイッチを押して確定してください。  
※チャンネル設定画面を表示します。（図3）

5. チャンネル設定画面（図3）にて、音量スイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「地域番号」を選択し、チャンネルスイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して地域番号を設定してください。  
※地域番号は別紙地域番号一覧表をご参照ください。

地域番号表に該当しない場合は、地域番号を「01」に設定し、次の【個別設定】の項の手順にしたがって設定番号「01」～「12」それぞれにチャンネルを設定してください。

6. TV/FMスイッチを押して地域番号を確定すると、チャンネル設定が終了してTV画面に戻ります。

（図3）



例 地域番号 [63]

### 【個別設定】

地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後にその他の放送チャンネルを追加される場合、ケーブルテレビの場合などは、チャンネルを設定しなおしてください。

7. 【チャンネル設定】の項2～4を行います。

8. 音量スイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「個別設定」を選択（図4）し、TV/FMスイッチを押して確定してください。  
※個別設定画面を表示します。（図5）

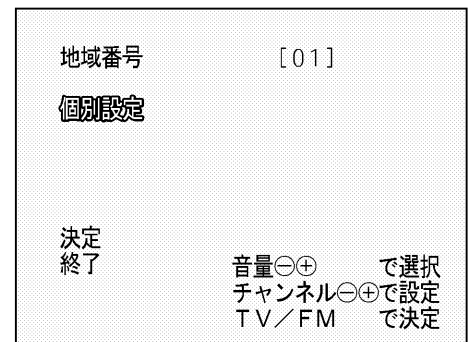
9. 音量スイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「設定番号」を選択し、チャンネルスイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して設定番号を設定してください。  
（設定番号は1～12）

10. 音量スイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「受信チャンネル」を選択し、チャンネルスイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して受信チャンネルを設定してください。  
（受信チャンネルは1～62、CATVはC13～C63）  
※受信チャンネルは実際に受信するチャンネル番号です。

11. 音量スイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「チャンネル表示」を選択し、チャンネルスイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して、チャンネル表示を設定してください。  
※チャンネル表示は画面に表示するチャンネル番号です。

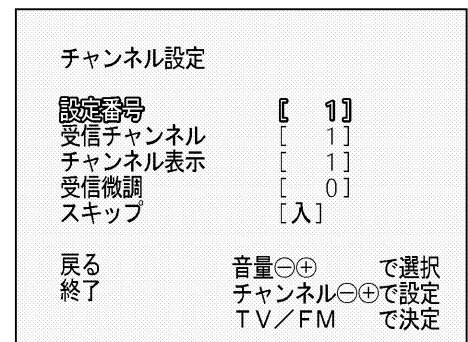
12. 音量スイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「受信微調」を選択し、チャンネルスイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して微調整をしてください。  
（調整値-99～0～99）  
※「0」は自動調整になります。

（図4）



例 地域番号 [01]

（図5）

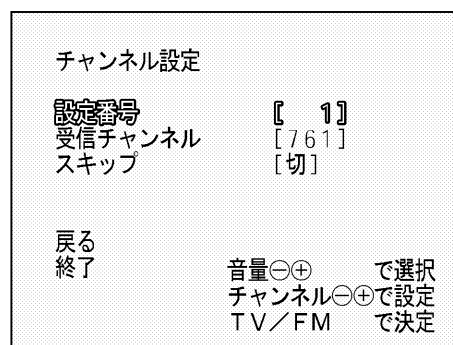


13. そのチャンネルを表示させたくない場合は、音量スイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「スキップ」を選択し、チャンネルスイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「入」にしてください。  
※スキップとは、放送のないチャンネル(設定番号)を飛び越す機能です。
14. 上記各設定に続いて、TV/FMスイッチを押すと、次の設定番号に移ります。  
(設定番号を1から順に設定する場合)
15. 10～14を繰り返し全てのチャンネルを設定後、または個別チャンネルの設定後、音量スイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「終了」を選択し、TV/FMスイッチを押して確定すると、チャンネル設定が終了してTV画面に戻ります。

### 【FMチャンネルの設定】

16. <チャンネル設定>の項2～3を行います。
17. 音量スイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「FMチャンネル設定」を選択し、TV/FMスイッチを押して確定してください。  
※FMチャンネル設定画面が表示されます。(図6)
18. 音量スイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「設定番号」を選択し、チャンネルスイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して設定番号を設定してください。  
(設定番号は1～12)
19. 音量スイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「受信チャンネル」を選択し、チャンネルスイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して受信チャンネルを設定してください。  
(受信チャンネル表示は761～899)
20. そのチャンネルを表示させたくない場合は、音量スイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「スキップ」を選択し、チャンネルスイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「入」にしてください。  
※スキップとは、放送のないチャンネル(設定番号)を飛び越す機能です。
21. 上記各設定に続いてTV/FMスイッチを押すと、次の設定番号に移ります。
22. 18～21を繰り返し全てのチャンネルを設定後、音量スイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「終了」を選択し、TV/FMスイッチを押して確定すると、FMチャンネル設定が終了してTV画面に戻ります。

(図6)



表示例 受信チャンネル(周波数)  
76.1MHzは「761」と表示されます。

## ■外部入力接続

(ビデオ・DVD・BS、CS、地上デジタルチューナーなど外部出力を持ったAV機器との接続が行えます。)

### ⚠ 注意

- ・各AV機器を後付けで設置する場合、現場によっては接続のための配線工事及び取り付けができない場合があります。
- ・浴室内からRMC-TV1を経由して各AV機器を作動させることはできません。
- ・各AV機器のリモコンではRMC-TV1は作動しません。  
また、各AV機器のリモコンは防水でない場合がありますので、浴室での使用はしないでください。
- ・各AV機器と電源・チューナーユニット間のAV接続コードは、30m以内にしてください。  
(30m以上になると信号が減衰し映像が乱れる場合があります)
- ・電源・チューナーユニットへ、アンテナ線を接続する場合は、各AV機器を経由しないでアンテナより直接つないでください。  
(AV機器によっては、映像が乱れる場合があります)
- ・本製品のテレビ機能は、従来の地上波放送(アナログ)をお楽しみいただくように設計しています。地上デジタル放送には対応していません。

### <システム図>

#### AV接続コード(現場手配品)

- ※各AV機器に直接接続する場合に使用します。
- ※屋外配線はしないでください。
- ※接続コードの長さは30m以内にしてください。

#### AVコンセント(現場手配)

- ※取り付け場所は上記長さ以内で直接水のかからない所に取り付けてください。
- ※スイッチボックスを使用する場合は1個用スイッチボックス(JIS C8340)を使用してください。

#### アンテナ線(現場手配品)

- ・同軸ケーブル5C-2V
- ・電源・チューナーユニットに接続されるアンテナ線の電波の強さ(電界強度)は55dB $\mu$ 以上、85dB $\mu$ 以下が必要です。

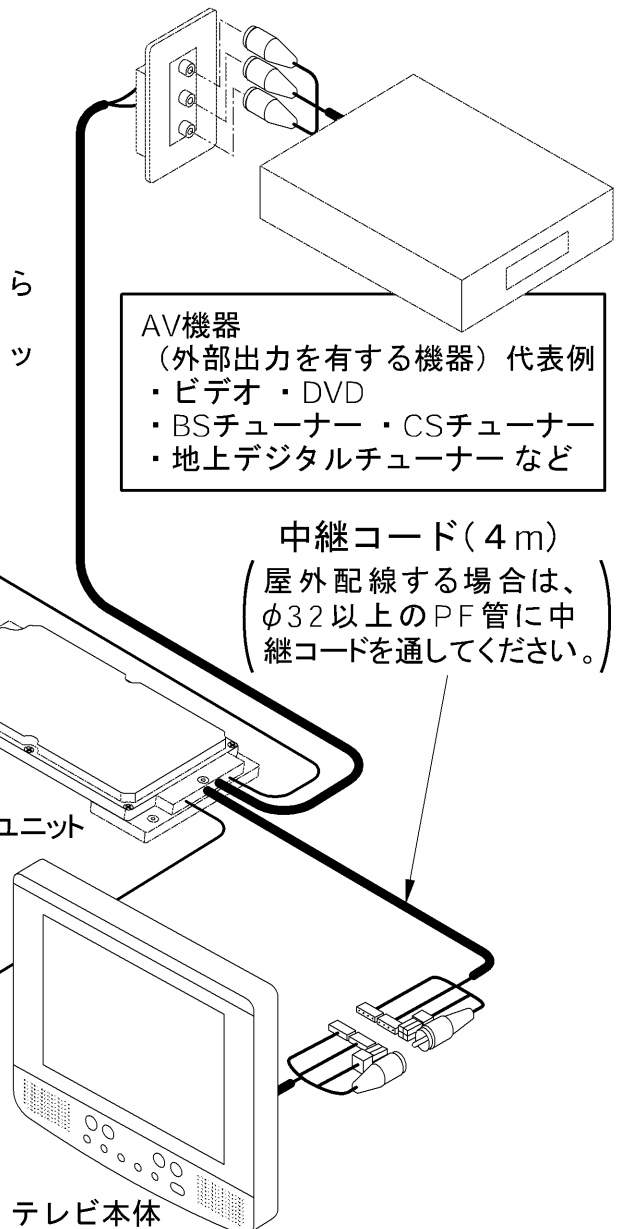
⚠ 必ず設置してください。  
感電の恐れがあります。

高感度・高速形  
漏電遮断器  
(漏電ブレーカー)

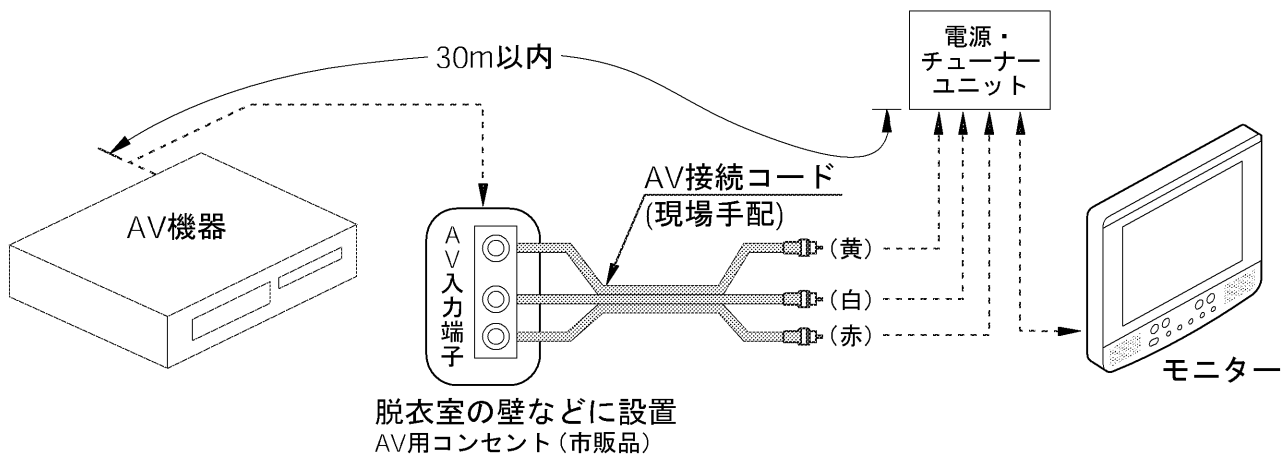
配線用遮断器  
(安全ブレーカー)

#### 電源コードAC100V(現場手配品)

- ・VV-F( $\phi$ 1.6)を必ず使用し、電源・チューナーユニットとの接続は付属の丸端子でおこなってください。
- ・屋外配線する場合は、PF管に電源コードを通してください。
- ・電気工事は有資格者が行ってください。

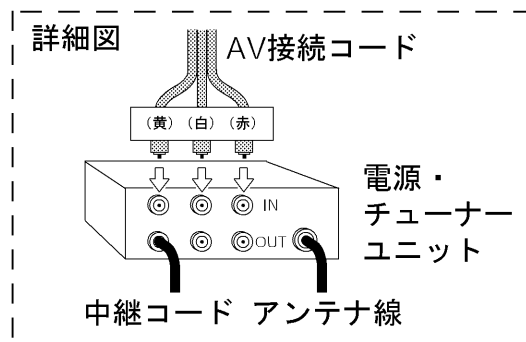
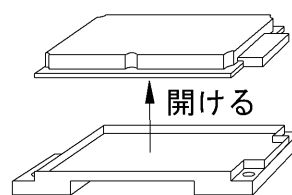


<AV用信号コンセント（市販品）を使用したAV機器との接続例>



<接続の手順>

1. 電源・チューナーユニットの電源を切る。
2. 電源・チューナーユニットふたのネジ8本を外し、開ける。
3. 電源・チューナーユニットのAV端子のゴムキャップを外す。
4. AV接続コードを電源・チューナーユニットへ接続する。
  - (1) AV接続コードのピンジャック（黄、白、赤）を電源・チューナーユニットの IN 側（上側）端子（黄、白、赤）へ接続する。



— AV接続コード推奨品 —

- ・接続コード：ソニー製VMC-8100S  
(10mビデオ用接続コード)
- ・接続コード：ソニー製RK-C3100  
(10mオーディオ用接続コード)
- ・延長用プラグ：ソニー製PC-220HM  
(延長用プラグアダプター)

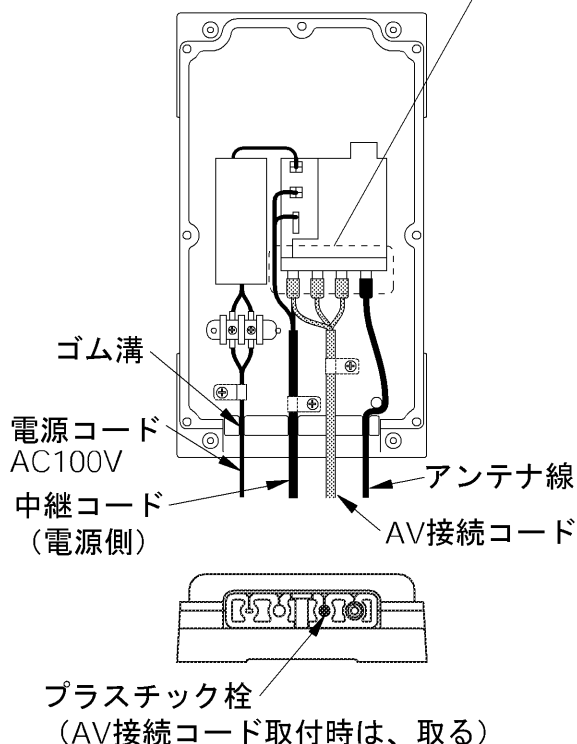
※上記コードまたは、同等品を使用してください。  
詳細は電気メーカーに確認してください。

— AVコンセント推奨品 —

- ・埋込絶縁AV用信号コンセント  
：松下電工製WN 4822  
(取り付け方法についてはAVコンセントメーカー  
にしたがってください)

- (2) AV接続コードをクランプで固定します。
- (3) AV接続コードをゴムの溝に入れる。  
ゴムの溝にプラスチックの栓がしてあります。  
プラスチックの栓を取ってコードを入れてください。

※電気工事は有資格者が行ってください。





5. 電源・チューナーユニットふたをネジ（8本）で閉めます。

パッキンにゴミが付着していないことと、きちんとはまっていることを確認してから閉めてください。

万一、ネジが空回りして締め付けられなくなった場合は、M3長さ30mmのトラス小ネジとM3用ナットではさみ込んで締め付けてください。

### <外部入力をONにする方法>

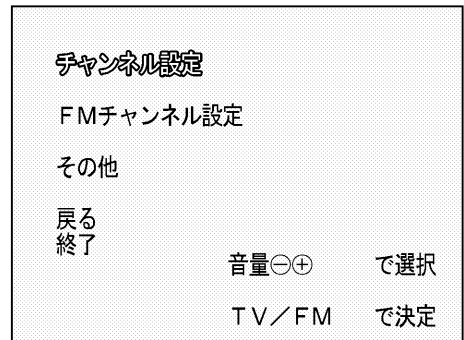
1. 電源スイッチを入れ、チャンネルが表示されることを確認してください。
2. 表示スイッチを約3秒間押してください。  
※調整画面を表示します。(図1)

(図1)



3. 調整画面（図1）にて音量スイッチ⊖または⊕を押して「設置調整」を選択し（選択すると文字が赤色に変わります）、TV/FMスイッチを押して確定してください。  
※設置調整画面を表示します。(図2)

(図2)



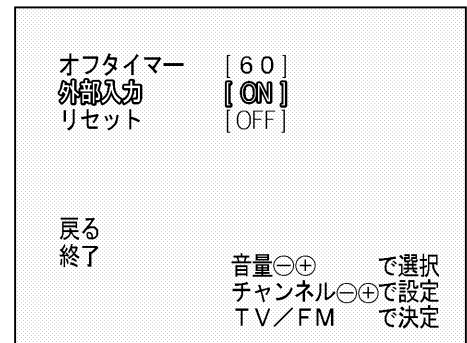
4. 音量スイッチ⊖または⊕を押して「その他」を選択し、TV/FMスイッチを押して確定ください。  
※外部入力画面を表示します。(図3)

(図3)



5. 音量スイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「外部入力」を選択し、チャンネルスイッチ $\ominus$ または $\oplus$ を押して「ON」に設定する。(図4)

(図4)



6. TV/FMスイッチを押すと外部入力の設定が完了し元の表示画面に戻ります。

7. 上記設定完了後、チャンネル操作を行って「外部入力」表示が出ることを確認してください。

■チャンネル、音量、明るさ、消音、TV/FM、表示の各スイッチを操作して、正常に作動することを確認してください。

※正常に作動しない場合には、取扱説明書の「故障・異常かな?と思ったら」を参照してください。

■お客様への説明

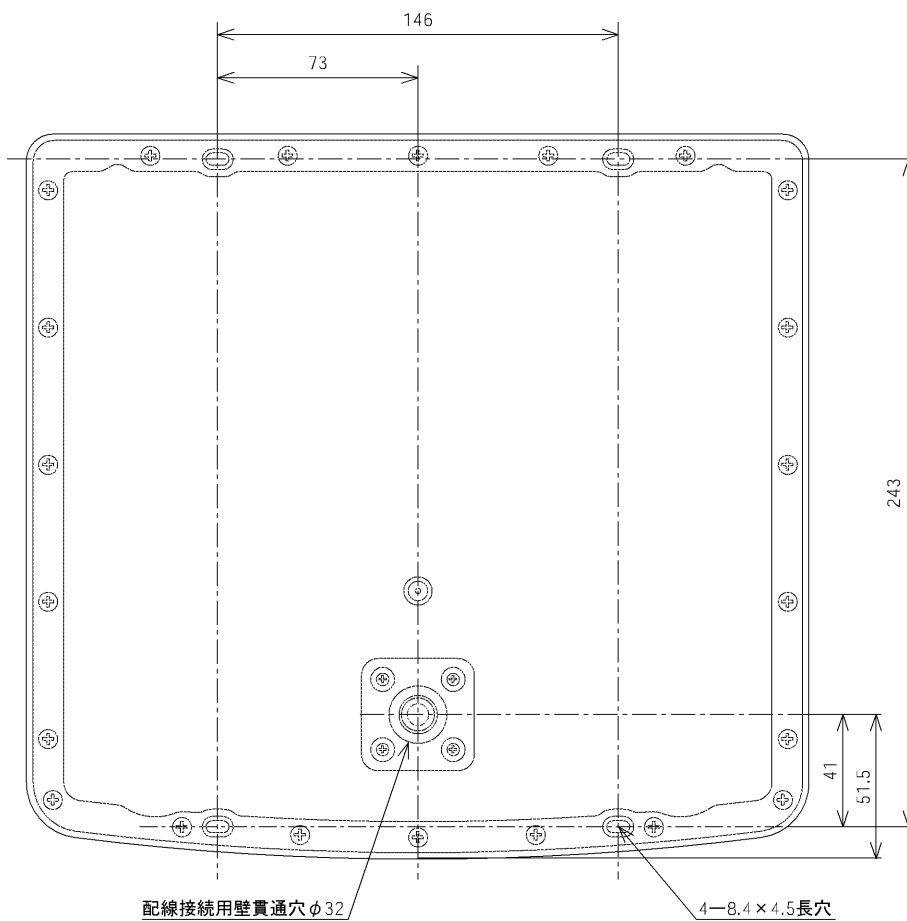
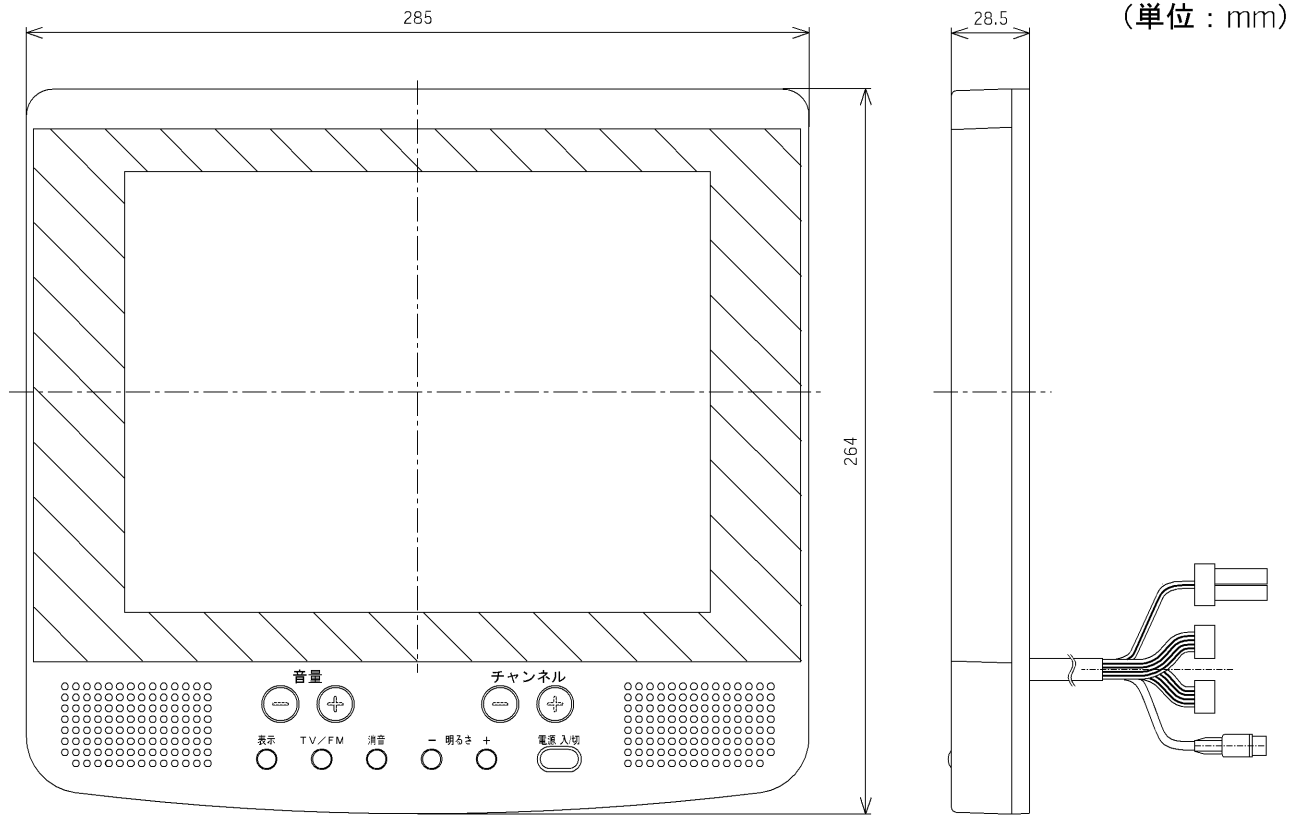
※異常時対策として、お客様にどのブレーカーにバスルームテレビがつながっているかを説明してください。

※バスルームテレビの取扱説明書に従って、使用方法を説明してください。特に「必ずお守りください(安全上の注意)」をよく説明してください。

※バスルームテレビの取扱説明書最終ページの保証書に必要事項を記入してください。

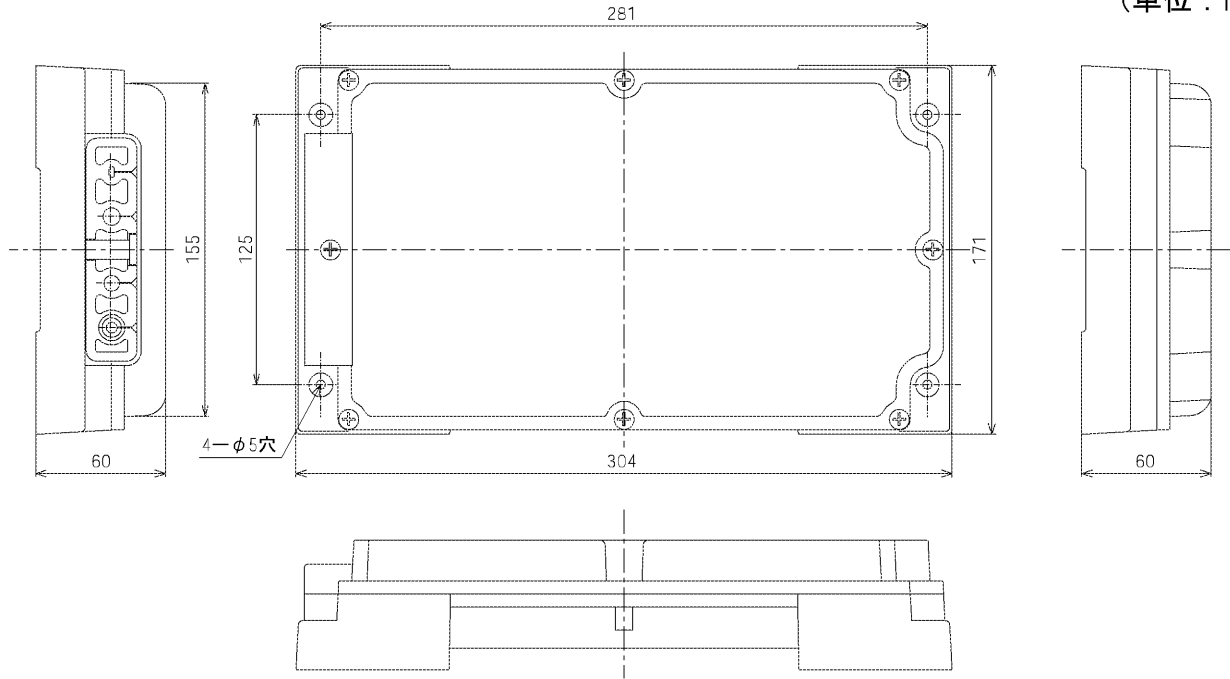
※取扱説明書(保証書付)は必ずお客様に渡してください。

■外形寸法図（テレビ本体）



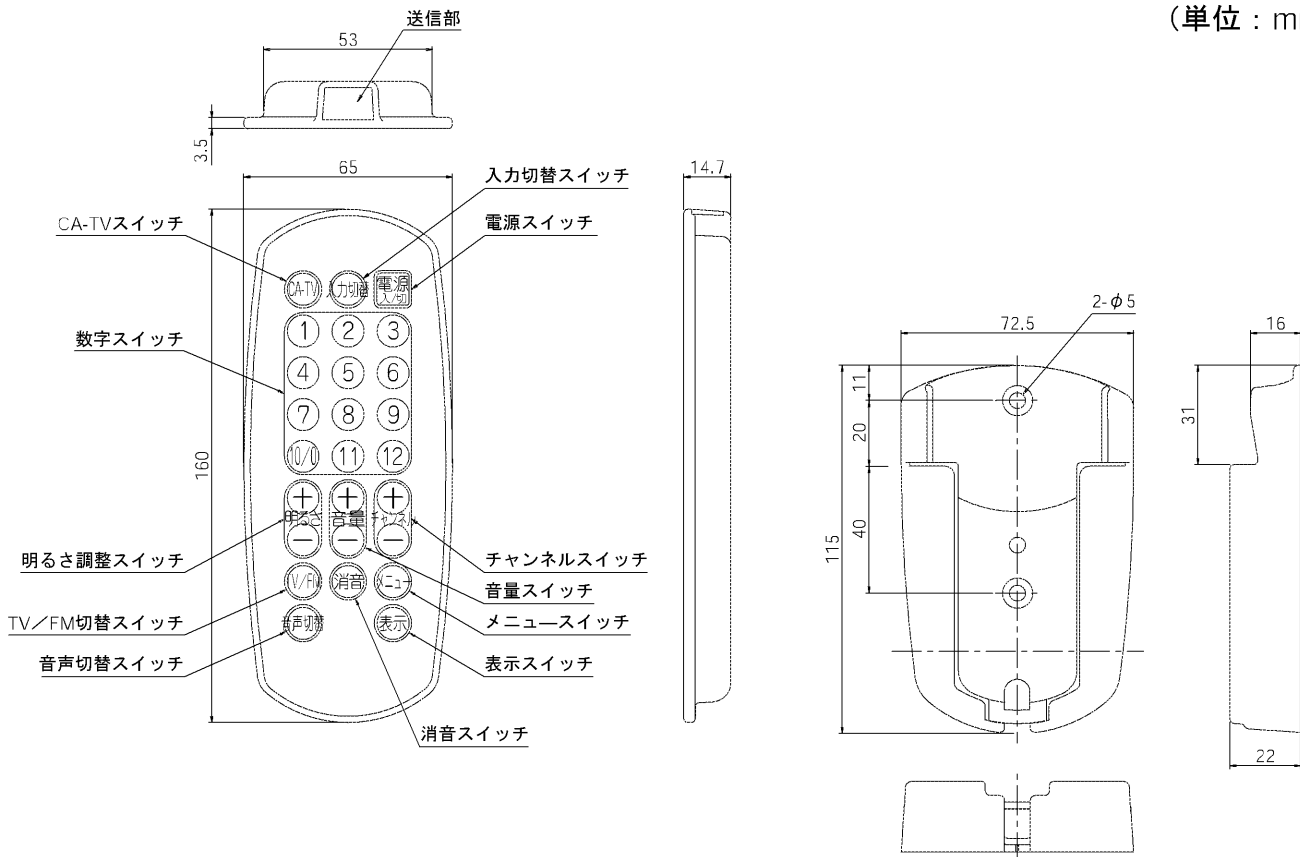
■外形寸法図（電源・チューナーユニット）

（単位：mm）



■外形寸法図（リモコン）

（単位：mm）



群馬製作所 〒370-0492 群馬県新田郡尾島町岩松800 電話番号 0276-52-1111（代表）

T965Z018H01 <2004-09>